令和4年度第2回伊賀地域高等学校活性化推進協議会

令和5年2月14日

配付資料

0	令和4年	度伊賀地域高等学校活性化推進協議会委員名簿・・・・・・・・・	P 1
0	【資料1】	令和4年度第1回協議会の概要・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
0	【資料2】	伊賀地域公立中学校卒業予定者の12月進路希望状況(5か年比較)	Р5
0	【資料3】	伊賀地域公立中学校卒業予定者の12月進路希望状況(市別)・・・ ①令和5年3月卒、②令和4年3月卒	Р6
0	【資料4】	伊賀地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況 ・・・・・・ ①令和5年度(前期選抜志願状況まで)、②令和4年度	Р8
0	【資料5】	伊賀地域の中学校卒業者数の推移と予測(含社会増減)・・・・・・ ①市別、②北部・南部別	P10
0	【資料6】	伊賀地域の中学校卒業者数と県立高等学校入学定員・・・・・・・	P12
0	【資料7】	伊賀地域の県立高等学校(全日制)の令和5年度入学定員・・・・	P13

令和4年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会 委員

	区 分	所 属 等	氏 名
1	学識経験者 (1名)	三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 准教授	加藤貴也
2		上野都市ガス株式会社 取締役保安工務部長	西垣浩尚
3	有識者	中外医薬生産株式会社 管理本部マネージャー	がじ もと けん た ろう 梶 本 健 太 郎
4	(4名)	亀井商事	r A 幸雄
5		株式会社アサネットワーク 代表	伊集 基之
6		伊賀市PTA連合会 会長 (伊賀市立府中小学校PTA)	清須貴博
7		名張市PTA連合会 顧問 (名張市立北中学校PTA)	また がわ しょう じ 司
8	P T A 関係者 (5 名)	伊賀地区県立学校 P T A 協議会 会長 (名張高等学校 P T A 会長)	安藤美穂
9		伊賀市内県立学校 P T A 代表 (あけぼの学園高等学校 P T A 会長)	epte life bee c 榊原昭子
10		名張市内県立学校 P T A 代表 (名張青峰高等学校 P T A 会長)	藤原 義 浩
11	市教委教育長	伊賀市教育委員会 教育長	たに ぐち しゅう いち 谷 口 修 一
12	(2名)	名張市教育委員会 教育長	西山 嘉一
13	小中学校長代表	伊賀市小中学校長会 代表 (伊賀市立阿山中学校 校長)	一 大 茂
14	(2名)	名張市小中学校長会 代表 (名張市立北中学校 校長)	やま ざき ひろ ムタタ
15	教員代表	小中学校教員 代表 (伊賀市立上野東小学校 教諭)	かっ しま だい すけ 勝 島 大 輔
16	(2名)	高等学校教員 代表 (名張青峰高等学校 教諭)	神
17		上野高等学校 校長	ました だいゆん 淳
18	県立学校長代表 (3名)	名張高等学校 校長	^{まさ} ひろ 堀 昌 弘
19		名張青峰高等学校 校長	赤塚久生

計19名

令和4年度第1回伊賀地域高等学校活性化推進協議会の概要

- 1 日時 令和4年7月27日(水)19時00分から21時00分まで
- 2 場所 県伊賀庁舎 大会議室
- 3 概要

地域の少子化がさらに進んでいく中で、当協議会の「令和元・2年度の協議のまとめ」や、「県立高等学校活性化計画(令和4年3月)」をふまえ、近い将来に想定される現在の 5 校の再編を検討する上で、子どもたちの学びの選択肢を保障し、学習環境をよりよくしていくために、大切にすべきことなどについて協議しました。

主な意見は次のとおりです。

≪英心高校桔梗が丘校をめぐる中学生の動向について≫

- 令和4年度から名張市に開校された通信制の英心高校桔梗が丘校について、中学生は どのような理由で進学を希望しているのか。
 - ⇒ 中学生や保護者は、体験入学などをとおして、自分に一番あった学校を選んで進学している。英心高校へは、不登校を経験した生徒などが、小さい集団の中でさまざまなサポートをしてもらえるところに魅力を感じて進学しているケースが多い。
 - ⇒ (事務局) 伊賀地域の中学校からは、昼間定時制の山辺高校山添分校(奈良県) と比較して、距離が近いため通学時間や交通費が少なくなる点、学校に行きづらい生徒の保護者からは送迎する際に便利である点、定時制は4年間通う必要があるが、通信制の英心高校は3年で卒業できる点に魅力を感じて進学していると聞いている。

≪県立高等学校活性化計画について≫

- 活性化計画には、1学年3学級以下の高校は統合についての協議も行うことや、入学者が2年連続して20人に満たない場合は募集停止とすることなどが書かれているが、 県教育委員会は、伊賀地域において何年度に統合や募集停止があると予想しているのか。
 - ⇒ (事務局) 伊賀北部では、令和7年度と10年度に大きな中学校卒業者数の減が予測されており、合わせて2学級減が見込まれている。このことをふまえ、現在の3校のままがよいのか、2校に再編すべきなのかを、令和7年度までにしっかりと協議する必要がある。
- 県立高校の活性化のためには、1学年何学級以上あったほうがよいという基準はある のか。
 - ⇒(事務局)今回の活性化計画では、望ましい学級規模などの基準を設けていないが、計画策定に向けた三重県教育改革推進会議においては、子どもたちが多様な考え方や価値観に触れ、社会性や人間性を身に付けるためには、一定の学級規模があったほうがよいという議論があった。

≪再編を検討するうえで大切にすべきことについて≫

- 子どもたちが自己実現するために必要な要素は何かという視点で議論を進めることが 大切である。
- 教育に関するテーマは、少子高齢化など社会の問題と全部がつながっているので、高校の活性化についても、企業経営や地域づくりの観点から考えていきたい。
- 伊賀地域は他地域からの流入が少なく、他地域への流出が多いので、どうやったら生 徒を呼び込めるのかを議論したい。
- 高校の統合に向かった状況は理解しつつも、これまでの統合によって母校がなくなり 寂しい思いもあるが、希望をもってその高校を選んだ生徒が、入学してがっかりしない ような環境づくりをしてほしい。
- 高校進学は、子どもたちが将来の希望を実現するための選択肢の1つである。小中学校の段階からキャリア教育を積み上げていくことが、結果として高校の活性化の取組にもつながる。子どもたちが、自由に進路を選択できる環境を整えるために、議論を続けていきたい。
- あけぼの学園高校は、小規模校の少人数を生かした丁寧な指導を行っており、そのような環境だからこそ通える生徒もいる。他の4校にはない魅力があるので、ICTの活用などにより、小規模校を残しながら活性化させることも検討すべきだ。
- 小さくても世界に通用する企業があるように、小規模でもその学校を選んだ生徒をどのように育てていくかを前向きに考え、伊賀地域の高校を他の地域へもアピールしていきたい。
- あけぼの学園高校は、これまでの活性化の取組によって特色化・魅力化が図られている。一方で、学級規模も大切であり、一定規模の学校が必要となったときに、あけぼの学園高校が担っている役割を他の4校で担えるのかどうかや、上野高校や名張高校の夜間定時制に昼間定時制を加えることができるのかどうかについて、議論しておく必要がある。
- 夜間定時制がある上野高校と名張高校には全日制もあるので、昼間定時制を併設する のは、教室数の不足などハード的にも簡単ではない。また、英心高校桔梗が丘校へは一 定の進学希望者があり、今後の動向を見極める必要がある。
- 令和4年度は地域内への進学者の割合が高かったとのことだが、例えば大学進学をめざす中学生が、本当は津市内の高校を志望していたのに、消極的理由で上野高校を選んだ結果だとすると、上野高校が活性化されているとは言えない。上野高校は地域で一番のブランドかもしれないが、あけぼの学園高校の方が独自性やニーズがあるという見方もできる。地域の子どもたちの進路の幅を広げ、選択肢を保障するという観点で考えることが大切である。
- 1学級40人を前提に議論しているが、教員数を確保したうえで、少人数学級を導入できないか。伊賀白鳳高校は30人または35人の7学級としているが、教員数が6学級規模であり、教育の質の低下を招く恐れがある。市町村合併により吸収された町や村から元気がなくなってきているという声もあるので、高校の再編には地域おこしの視点も必要ではないか。

- 地域の人口そのものが減少しており、高校の配置についても現実的な話をする時期に 来ている。学習指導要領が改訂され、探究的な学びを進めていくためには、ある程度の 規模があったほうがよい。また、教育にかけられる予算にも限りがあるので、いつまで も小規模校を維持し続けることはできず、どこかで再編の判断をする必要がある。
- 十分な予算と人材があれば、何学級規模であっても活性化できるが、中学校卒業者数が減少し、教育関係の予算も減るという現実の中で、できる限り地域の子どもたちの学びを保障し、効果的・効率的に学校を運営する方法を考える必要がある。今後は、役割や機能が近い学校をできるだけ集約して教育資源を集中化させ、スケールメリットを生かして子どもたちに選択肢のある学びを提供していくことが必要になってくる。

≪交通網に係る課題について≫

- 再編を考えるうえで大切なことは、子どもたちの学びの選択肢が確保されていること と、それを選択できるだけの交通手段が整っていることである。
- 学びの選択肢だけでなく、新しく校舎を作ったりバイク通学を認めたりするなど、交通手段の選択肢も含め、いろいろなアイデアを出し合う必要がある。
- あけぼの学園高校が、専用通学バスにより名張市からの進学者が増えたように、結局、 伊賀地域は交通の便が課題である。
- 地域の高校の特色化・魅力化が図られなければ、交通の便がよくなったときに、さら に他地域への進学者が増えることも考えられる。

伊賀地域公立中学校卒業予定者の12月進路希望状況(5か年比較)

ΕZΛ	\H 110 H	平成31年	三3月卒	令和2年	F3月卒	令和3年	F3月卒	令和4年	F3月卒	令和5年	三3月卒
区分	進路先	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
	上野	294	20.7	261	19.0	243	17.6	275	19.8	242	17.8
	伊賀白鳳	281	19.8	255	18. 5	226	16. 4	228	16. 4	233	17. 1
伊賀地域	あけぼの学園	54	3.8	72	5. 2	67	4. 9	43	3. 1	48	3. 5
県立	名張	164	11.6	148	10.8	174	12. 6	220	15. 8	164	12. 0
全日制	名張青峰	246	17. 4	247	18. 0	275	19. 9	234	16. 8	215	15. 8
	小計	1, 039	73. 3	983	71.4	985	71. 3	1000	71. 9	902	66. 3
	津	55	3. 9	52	3.8	45	3.3	36	2. 6	42	3. 1
他地域	<u>净</u> 津西	43	3. 0	28	2. 0	38	2.8	29	2. 1	36	2. 6
県立	上記以外 ※1		5. 0 5. 0	77					4. 0	63	
全日制		71			5. 6 11. 4	71	5. 1 11. 2	56	8. 7		4. 6 10 . 4
	小計	169	11.9	157		154		121		141	
	鈴鹿	2	0. 1	1	0.1	2	0.1	2	0.1	11	0.8
県内	高田	3	0.2	7	0.5	7	0.5	4	0.3	7	0.5
私立	三重	11	0.8	17	1.2	18	1.3	18	1.3	16	1. 2
全日制	桜丘	2	0. 1	2	0. 1	2	0.1	4	0.3	1	0.1
	上記以外 ※2	3	0.2	10	0.7	10	0.7	7	0.5	8	0.6
	小計	21	1.5	37	2. 7	39	2. 8	35	2. 5	43	3. 2
県外	国公立	12	0.8	10	0.7	12	0.9	8	0.6	8	0.6
全日制	私立	43	3.0	50	3.6	49	3. 5	57	4. 1	54	4.0
	小計	55	3. 9	60	4. 4	61	4. 4	65	4. 7	62	4. 6
	上野	13	0.9	6	0.4	4	0.3	14	1.0	8	0.6
	名張	5	0.4	9	0.7	9	0.7	10	0.7	12	0.9
定時制	上記以外の県内	0	0.0	1	0.1	1	0.1	0	0.0	1	0.1
作时间	県外国公立	8	0.6	2	0.1	2	0.1	2	0.1	9	0.7
	県外私立	0	0.0	0	0.0	1	0.1	2	0.1	0	0.0
	小計	26	1.8	18	1.3	17	1. 2	28	2. 0	30	2. 2
	県立(北星・松阪)	0	0.0	1	0.1	2	0.1	2	0.1	1	0.1
	英心桔梗が丘校							15	1.1	57	4. 2
	英心伊勢本校	10	0.7	17	1.2	2	0.1	11	0.8	5	0.4
通信制	徳風	5	0.4	6	0.4	11	0.8	5	0.4	4	0.3
	上記以外の県内	3	0.2	2	0.1	0	0.0	4	0.3	1	0. 1
	県外	11	0.8	22	1.6	36	2.6	18	1.3	27	2.0
	小計	29	2. 0	48	3. 5	51	3. 7	55	4. 0	95	7. 0
	鈴鹿高専	6	0.4	10	0.7	11	0.8	11	0.8	6	0.4
	鳥羽商船	2	0. 1	2	0. 1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
高等専門	近大高専	44	3. 1	36	2. 6	30	2. 2	55	4. 0	45	3. 3
学校	県外	5	0. 4	6	0. 4	1	0. 1	4	0.3	7	0. 5
	小計	57	4. 0	54	3. 9	42	3. 0	70	5. 0	58	4. 3
	伊賀つばさ学園	5	0. 4	4	0.3	12	0.9	4	0.3	9	0. 7
特別支援	上記以外の県内	1	0. 1	0	0.0	0	0.0	1	0. 1	1	0. 1
学校	県外	0	0. 0	0	0.0	0	0.0	0	0. 0	0	0. 0
1, 2,	小計	6	0. 4	4	0. 3	12	0. 9	5	0. 4	10	0. 7
	専修・各種・職訓		0.3		0.3		0.3	0	0. 0	0	0.0
	就職	4 8	0. 6	4 7	0. 5	4 6	0. 3	4	0. 0	11	0.8
その他	<u> </u>	3	•			10	0. 4			9	
			0. 2	15	0. 3 1. 1			8 12	0. 6 0. 9		0. 7 1. 5
ハキュ	小計 中学校卒業者数	15 1 417	1.1	15		20	1.4			20	
公五	T子仪半栗有剱	1, 417	100.0	1, 376	100.0	1, 381	100.0	1, 391	100.0	1, 361	100.0

※1 (令和5年3月卒)桑名2、いなべ総合1、四日市3、四日市工業1、

飯野3、白子3、亀山8、津商業1、津東8、津工業7、久居1、久居農林1、白山5、

松阪13、松阪工業2、相可2、昴学園2 の計63人

(令和4年3月卒) いなべ総合2、四日市3、四日市工業2、菰野1、

神戸1、飯野2、白子3、亀山2、津商業4、津東5、津工業4、久居3、久居農林1、白山4、

松阪4、松阪工業3、松阪商業3、相可2、昴学園6、伊勢1 の計56人

※2 (令和5年3月卒)津田学園2、海星3、メリノール1、皇學館2 の計8人

(令和4年3月卒) 津田学園2、海星2、メリノール1、皇學館2 の計7人

※3 進学待機、求職中など

伊賀地域公立中学校卒業者の12月進路希望状況(令和5年3月卒)

資料3①

	YA EDA AL-	伊賀	買市	名引	長市	伊賀地	域合計
区分	進路先	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
	上野	173	24.0	69	10.8	242	17.8
	伊賀白鳳	204	28. 3	29	4. 5	233	17. 1
伊賀地域 県立	あけぼの学園	32	4. 4	16	2. 5	48	3. 5
东立 全日制	名張	47	6. 5	117	18. 3	164	12. 0
포 H IN3	名張青峰	69	9.6	146	22.8	215	15.8
	小計	525	72. 8	377	58. 9	902	66. 3
他地域	津	13	1.8	29	4. 5	42	3. 1
他地域 県立	津西	9	1.2	27	4. 2	36	2.6
全日制	上記以外	33	4.6	30	4. 7	63	4.6
T 11113	小計	55	7. 6	86	13. 4	141	10. 4
	鈴鹿	9	1.2	2	0.3	11	0.8
県内	高田	7	1.0	0	0.0	7	0. 5
泉内 私立	三重	5	0.7	11	1.7	16	1. 2
全日制	桜丘	0	0.0	1	0.2	1	0. 1
T 10 103	上記以外	5	0.7	3	0.5	8	0.6
	小計	26	3. 6	17	2. 7	43	3. 2
県外	国公立	6	0.8	2	0.3	8	0.6
全日制	私立	22	3. 1	32	5. 0	54	4.0
포 H IN	小計	28	3. 9	34	5. 3	62	4. 6
	上野	8	1.1	0	0.0	8	0.6
	名張	3	0.4	9	1.4	12	0.9
定時制	上記以外の県内	0	0.0	1	0. 2	1	0.1
VC 6.0 Uhi	県外国公立	4	0.6	5	0.8	9	0. 7
	県外私立	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	15	2. 1	15	2. 3	30	2. 2
	県立(北星・松阪)	1	0.1	0	0.0	1	0. 1
	英心桔梗が丘校	11	1.5	46	7.2	57	4.2
	英心伊勢本校	0	0.0	5	0.8	5	0.4
通信制	徳風	4	0.6	0	0.0	4	0.3
	上記以外の県内	0	0.0	1	0.2	1	0. 1
	県外	10	1. 4	17	2. 7	27	2.0
	小計	26	3. 6	69	10. 8	95	7. 0
	鈴鹿高専	5	0.7	1	0.2	6	0.4
高等専門	鳥羽商船	0	0.0	0	0.0	0	0.0
学校	近大高専	20	2.8	25	3. 9	45	3. 3
, ,	県外	4	0.6	3	0. 5	7	0. 5
	小計	29	4. 0	29	4. 5	58	4. 3
	伊賀つばさ学園	5	0.7	4	0.6	9	0. 7
特別支援	上記以外の県内	1	0.1	0	0.0	1	0. 1
学校	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	6	0.8	4	0. 6	10	0. 7
	専修・各種・職訓	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	就職	8	1. 1	3	0.5	11	0.8
	上記以外	3	0.4	6	0.9	9	0.7
	小計	11	1. 5	9	1.4	20	1. 5
公立。	中学校卒業者数	721	100.0	640	100.0	1, 361	100.0

伊賀地域公立中学校卒業者の12月進路希望状況(令和4年3月卒)

資料3②

ΕZΛ	`任·四·	伊賀	賀市	名引	長市	伊賀地	域合計
区分	進路先	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
	上野	214	29.0	61	9.4	275	19.8
	伊賀白鳳	191	25.8	37	5. 7	228	16.4
伊賀地域 県立	あけぼの学園	25	3.4	18	2.8	43	3. 1
宗立 全日制	名張	71	9.6	149	22. 9	220	15.8
土口巾	名張青峰	74	10.0	160	24. 5	234	16.8
	小計	575	77. 8	425	65. 2	1000	71. 9
	津	6	0.8	30	4. 6	36	2. 6
他地域	<u>津</u> 西	9	1.2	20	3. 1	29	2. 1
県立	上記以外	29	3.9	27	4. 1	56	4. 0
全日制	小計	44	6. 0	77	11. 8	121	8. 7
	鈴鹿	2	0.3	0	0.0	2	0. 1
	高田	3	0.4	1	0. 2	4	0. 3
県内	三重	6	0.8	12	1.8	18	1. 3
私立	一 <u>里</u> 桜丘	3	0. 4	1	0. 2	4	0.3
全日制	上記以外	3	0.4	4	0. 2	7	0. 5
	小計	17	2. 3	18	2. 8	35	2. 5
	国公立	7	0.9	10	0. 2	8	0.6
県外	私立	27	3.7	30	4. 6	57	4. 1
全日制	小計	34	4. 6	31	4. 8	65	4. 7
	上野	14	1. 9	0	0. 0	14	1.0
	名張	2	0.3	8	1. 2	10	0. 7
	1年版 上記以外の県内		0. 3				0.7
定時制	上記以外の県内 県外国公立	0	0.0	0	0.0	0	
	L	0		2	0.3	2	0.1
	県外私立 小計	1 7	0.1	1	0. 2 1. 7	2	0.1
		17	2. 3	11		28	2. 0
	県立(北星・松阪)	2	0.3	0	0.0	2	0. 1
	英心桔梗が丘校	5	0.7	10	1.5	15	1. 1
\코 [➡ #·i	英心伊勢本校	0	0.0	11	1.7	11	0.8
通信制	徳風	3	0.4	2	0.3	5	0.4
	上記以外の県内	3	0.4	1	0.2	4	0.3
	県外	6	0.8	12	1.8	18	1.3
	小計	19	2. 6	36	5. 5	55	4. 0
	鈴鹿高専	8	1. 1	3	0.5	11	0.8
高等専門	鳥羽商船	0	0.0	0	0.0	0	0.0
学校	近大高専	18	2. 4	37	5. 7	55	4. 0
	県外	2	0.3	2	0.3	4	0. 3
	小計	28	3. 8	42	6. 4	70	5. 0
	伊賀つばさ学園	0	0.0	4	0.6	4	0.3
特別支援	上記以外の県内	0	0.0	1	0.2	1	0.1
学校	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	0	0. 0	5	0. 8	5	0. 4
	専修・各種・職訓	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	就職	2	0.3	2	0.3	4	0.3
こくとで	上記以外	3	0.4	5	0.8	8	0.6
	小計	5	0. 7	7	1.1	12	0. 9
公立。	中学校卒業者数	739	100.0	652	100.0	1, 391	100.0

資料4①

伊賀地域の県立高等学校(全日制)の令和5年度入学者選抜の状況

				1 1000	前期選抜等	1.55		後期選抜	巽抜	П		再募集		:		
画校名	学科·コース名	R5 募集定員	R4.12 希望者数	募集人数	志願者数	合格 内定者数	募集人数	志願者数 (最終)	志願倍率 合	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数	合 格教 本教	入学者数	久員
	開開	200	167													
伍子	理数	40	78	20	73											
	류	240	245	20	73											
本午呼の学問	終合學和	U8	55	40	22											
F 100 1100		3	8	4	0											
	機械	35	43	18	39											
	電子機械	35	20	18	21			[※差] 令		おいままの	1	7.全日制				
	建築デザイン	35	39	18	37			· 計 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 :	前期選抜等の合格内定通知・後期選抜募集人数発表	格内定通	口'压\来- [知•後期]	Z エロ順選抜募集.	人数発表	2月14日(火)	(米)日	
田裕丁画	生物資源	35	32	18	32			後期海※	·後期選抜の顧書受付期間 ※志顧変更期間 3月2日	受付期間 3月2日	\sim	□(火)~ □(角)	2月21日(火)~27日(月) 木)~6日(月)			
	フート・システム	35	43	18	43			後期 分	後期選抜の検査へお来の参手が	1	(K)		{			
	松道	30	27	15	26		<u> </u>	· 可备。 	古恰有の先衣(則朔选奴寺とさむ) 	川朔迭板:	# 2 E C)	(年)日/日8			\int	
	ヒューマンサービス	35	37	18	38											
	丰	240	241	123	236											
名張	総合学科	200	179	100	184											
	- 東東	200	180	09	176											
名張青峰	文理探究コース	40	46	20	45											
	井	240	226	80	221											
伊賀	伊賀地域計	1,000	946	367	692											
十一		司公廷 计出	国内 の 国 小 弘 寸 由 学 抜 3 年 生 ち 計 多 一 宇 な さ か ト 准 敗 圣 望 井	大計多一年	い枯とれて	4 吹 条 切 计	いい調本に	トス								

※「R4.12希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施された進路希望状況調査による。 ※あけぼの学園の上段は前期選抜、下段は特別選抜

伊賀地域の県立高等学校(全日制)の令和4年度入学者選抜の状況

					前期選抜等			後期選抜	選抜			再募集		:		
画 校 名	学科·コース名	R4 募集定員	R3.12 希望者数	募集人数	志願者数	合 內 內 定 者 数	募集人数	志願者数 (最終)	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数	合格 総数 数	入学者数	久員
	票	240	200				240	217	06'0	240				240	240	0
上野	理数	40	81	20	79	20	20	22	2.75	20				40	40	0
	류	280	281	20	79	20	260	272	1.05	260				280	280	0
あけぼの学園	総合学科	80	52	40	51	45	32	37	1.06	34	1	-	1	81	81	0
	機械	35	32	18	30	20										
	電子機械	35	28	18	29	20					_					
	建築デザイン	35	45	18	46	20					_		_			
年的七回	生物資源	35	28	18	31	20	103	105	1.02	103	_	_	_	240	240	0
	フート・システム	35	36	18	36	20					_	_	_			
	数	30	25	15	24	17						_	_			
	ヒューマンサービス	35	40	18	42	20						_	_			
	丰	240	234	123	238	137	103	105	1.02	103				240	240	0
名張	総合学科	200	222	100	229	105	<u> </u>	109	1.15	36				200	200	0
	票 通	200	192	09	194	99	134	127	26'0	134				200	200	0
名張青峰	文理探究3-7	40	53	20	49	22	18	27	1.50	18				40	40	0
	丰	240	245	80	243	88	152	154	1.01	152				240	240	0
伊賀	伊賀地域計	1,040	1,034	367	841	395	645	229	1.05	644	1	1	1	1,041	1,041	0
※「R3 12希望老数 It	が は 単内の国	県内の国公私 7 中学校3年生多対象に実施された准路希望状況調香による。	学校3年生	を対象に写	話なれた。	作 路条望为	いい調本に	よる。								

^{※「}R3.12希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施された進路希望状況調査による。 ※あけぼの学園の上段は前期選抜、下段は特別選抜

資料5①

伊賀地域の中学校卒業者数の推移と予測(含社会増減)

											合利	令和4年5月1日		教育政策課調べ
	中学校卒業年月	Н 31.3	R 2.3	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3
		卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
	卒業者数	829	208	770	801	922	292	723	929	692	654	889	612	603
	前年度対比		-22	-37	31	-25	-11	-42	-47	16	86-	-16	-26	6-
伊賀市	F4.3対比					-25	-36	-78	-125	-109	-147	-163	-189	-198
	①公立小中在籍者数	(243)	(735)	(724)	(682)	720	713	089	989	702	299	099	623	612
	②私立中在籍者数	(88)	(72)	(46)	(62)	46	33	29		\setminus				\setminus
	本業者数	674	642	629	654	644	641	673	640	029	889	609	289	699
夕龍井	前年度対比		-32	17	9-	-10	-3	32	-33	10	-12	-29	-22	-18
= \(\frac{1}{2}\)	R4.3対比					-10	-13	19	-14	-4	-16	-45	<i>L</i> 9–	28-
	③公立小中在籍者数					642	640	674	670	929	999	689	613	262
0	本業者数	1,503	1,449	1, 429	1,455	1, 420	1,406	1,396	1,316	1,342	1, 292	1, 247	1, 199	1, 172
伊賀地城	或前年度対比		-54	-20	26	-35	-14	-10	08-	26	09-	-45	-48	-27
111111111111111111111111111111111111111	R4.3対比					-35	-49	-59	-139	-113	-163	-208	-256	-283
	①②③小中在籍者数					1, 408	1,386	1,383	1,355	1, 378	1, 332	1, 289	1,236	1,207

(参考)

		H 31.3 R 2.3	R 2.3	R 3.3	R 4.3	R 4.3 R 5.3 R 6.3 R 7.3 R 8.3 R 9.3 R 10.3 R 11.3 R 12.3 R 13.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3
		卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現中3 現中2 現中1 現小6 現小5 現小4 現小3 現小2 現小1	現小3	現小2	現小1
	卒業者数	16,811	16, 811 16, 489	15,777	16, 244	16,044 15,880 15,607 15,433 15,225 14,717 14,357 14,055 14,007	15,880	15,607	15, 433	15, 225	14, 717	14, 357	14,055	14,007
日本人士	前年度対比		-322	-712	467	-200	-164	-273	-174	-200 -164 -273 -174 -208 -508	809-	-360	-302	-48
	R4.3対比					-200	-364 -637	-637	-811	-1,019	-811 -1, 019 -1, 527 -1, 887 -2, 189 -2, 237	-1,887	-2,189	-2,237
	小中在籍者数					16,025	15,852	15,606	15, 570	15, 363	16, 025 15, 852 15, 606 15, 570 15, 363 14, 849 14, 497 14, 184 14, 109	14, 497	14, 184	14, 109

26 (1,000)

27

27

28

伊賀地域県立高校の1学年学級数 () 内は入学定員の計

(1, 120) | (1, 080) | (1, 040) | (1, 040)

資料5②

伊賀地域の中学校卒業者数の推移と予測(含社会増減)【北部・南部別】

今年1年1日 特が予発計画 ジ

中学校や業中月 H 31.3 K 2.3 K 4.3 K 6.3 K 6.3 K 6.3 K 6.3 K 6.3 K 7.3 K 8.3 K 9.3 K 11.3 K 11.3 K 11.3 K 11.3 K 12.3 K 13.4 L 6.4 K 6.3 K 6.2 K 6.3 K 6.3 K 6.2 K 6.2 K 6.2 K 6.2 K 6.2 K 6.3 K 6.3 K 6.2 K 6.2 K 6.2 K 6.2 K 6.3 K 6.3 K 6.2 K 6.3 K 6.2 K	L				((,	ŀ	(ı	((1	, 		K F
快報 卒業者数 卒業 現中3 現中3 現中4 現中6 現小6 日か6 日か7 日か7 </th <th></th> <th></th> <th>甲字校卒業年月</th> <th>Н 31.3</th> <th>R 2.3</th> <th>R 3.3</th> <th>R 4.3</th> <th>R 5.3</th> <th>R 6.3</th> <th>R 7.3</th> <th>R 8.3</th> <th>R 9.3</th> <th>R 10.3</th> <th>R 11.3</th> <th>R 12.3</th> <th>R 13.3</th>			甲字校卒業年月	Н 31.3	R 2.3	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3
世報 中報 小的 小的 小的 小的 小的 小的 小的 				卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	#	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
中費 北部 (1) (1) (1) 			卒業者数	761	747	208	738	715	711	645	617	628	594	581	292	222
状態 (D公立小中在籍者数)(675)(662)(676)		Į.	前年度対比		-14	-39	30	-23	7 –	99–	-28	11	-34	-13	-14	-15
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		伊子賀東	R4.3対比					-23	-27	-93	-121	-110	-144	-157	-171	-186
分量 砂塩 砂塩 砂塩 砂塩 砂塩 砂塩 砂塩 砂塩 砂塩 砂塩 			①公立小中在籍者数	(675)	(675)	(662)	(929)	629	099	602	623	634	209	290	929	299
仲質一 中華者数712713713695751695751695751699751699751699751699751699752753653653 仲質 前年度対比4014041 </th <th></th> <th></th> <td>②私立中在籍者数</td> <td>(98)</td> <td>(72)</td> <td>(46)</td> <td>(62)</td> <th>46</th> <td>33</td> <td>29</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>\setminus</td> <td></td> <td></td>			②私立中在籍者数	(98)	(72)	(46)	(62)	46	33	29				\setminus		
仲貨 南 <			卒業者数	742	702	721	717	202	969	751	669	714	869	999	633	621
南部R4. 3対比C - 1- 1- 234- 18- 18- 19- 5 <th></th> <th>伊賀</th> <td>前年度対比</td> <td></td> <td>-40</td> <td>19</td> <td>-4</td> <th>-12</th> <td>-10</td> <td>99</td> <td>-52</td> <td>15</td> <td>-16</td> <td>-32</td> <td>-33</td> <td>-12</td>		伊賀	前年度対比		-40	19	-4	-12	-10	99	-52	15	-16	-32	-33	-12
③公立小中在籍者数1,5031,4491,4291,4551,4201,4661,3061,3061,3161,3421,2921,2471,200市年度対比-54-2026-35-14-10-8026-55-55-47-47-54-55-48-55-13-13-153-13-163-255①②3小中在籍者数-1		東部	R4.3対比					-12	-22	34	-18	-3	-19	-51	-84	96-
中中本業者数1,5031,4491,4291,4551,4201,4061,3061,3161,3421,2921,2471,200中中-54-2026-35-14-10-8026-50-45-47計田33-35-49-1351,3781,3781,3321,2891,236			③公立小中在籍者数					703	693	752	732	744	727	669	099	029
母質地域 計 (日) <br< th=""><th>11</th><th></th><td>卒業者数</td><td>1,503</td><td>1,449</td><td>1, 429</td><td>1, 455</td><th>1, 420</th><td>1, 406</td><td>1, 396</td><td>1, 316</td><td>1,342</td><td>1, 292</td><td>1,247</td><td>1,200</td><td>1, 173</td></br<>	11		卒業者数	1,503	1,449	1, 429	1, 455	1, 420	1, 406	1, 396	1, 316	1,342	1, 292	1,247	1,200	1, 173
R4.3対比-35-49-59-139-113-163-208-255①②③小中在籍者数1,3861,3861,3551,3781,3321,2891,236	_	尹賀地城			-54	-20	26	-35	-14	-10	08-	26	-20	-45	-47	-27
1,408 1,386 1,383 1,355 1,378 1,332 1,289 1,236		111111111111111111111111111111111111111	R4.3対比					-35	-49	-29	-139	-113	-163	-208	-255	-282
			①②③小中在籍者数					1, 408	1,386	1, 383	1,355	1, 378	1, 332	1, 289	1,236	1, 207

^{*} *

(1,000)

|(1, 120)|(1, 080)|(1, 040)|(1, 040)|

27

伊賀地域県立高校の1学年学級数 () 内は入学定員の計

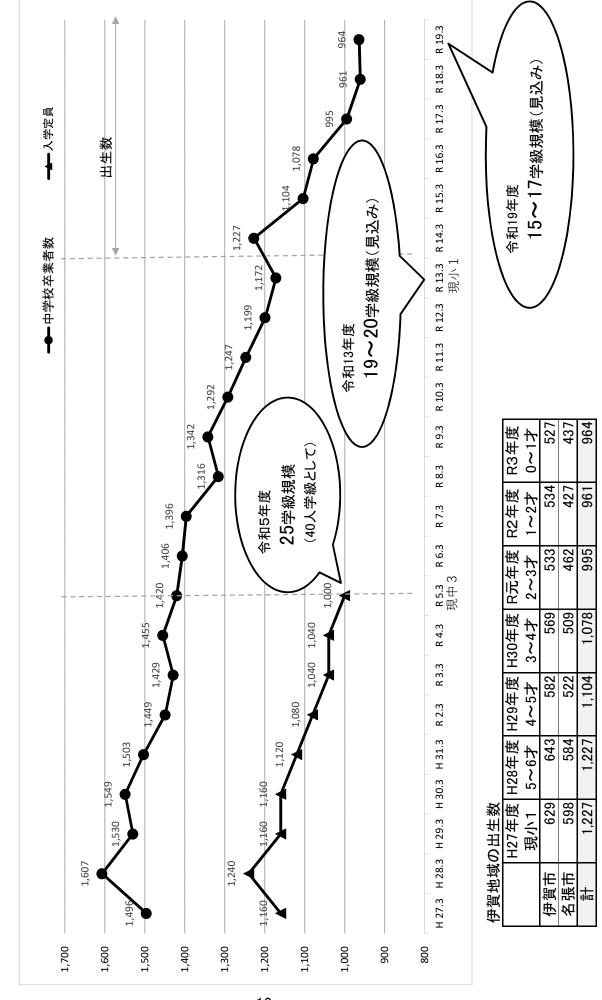
(参考)

(4)														
		H 31.3	H 31.3 R 2.3	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 6.3 R 7.3 R 8.3 R 9.3 R 10.3 R 11.3 R 12.3 R 13.3	R 12.3	R 13.3
		卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中2 現中1	現小6	現小5		現小4 現小3 現小2	現小2	現小1
	卒業者数	16,811	16, 811 16, 489	15,777	16, 244	16,044	15,880	15,607	15, 433	15, 225	14,717	15, 607 15, 433 15, 225 14, 717 14, 357 14, 055		14,007
国五人計	前年度対比		-322	-712	467	-200	-164	-273	-174	-208	809-	-360	-302	-48
	R4.3対比					-200	-364	-637	-811	$-1,019$ $\left -1,527\right $	-1,527	7 -1,887	-2,189	-2,237
	小中学校在籍者数					16, 025 15, 852	15,852	15,606	15, 570	15, 363	14,849	15, 606 15, 570 15, 363 14, 849 14, 497 14, 184 14, .	14, 184	14, 109

伊賀北部=伊賀市から旧青山町を除く。 伊賀南部=名張市に旧青山町を加える。

伊賀地域の中学校卒業者数と県立高等学校入学定員の推移

※中学校卒業者数については、R4.3以前は確定値、R5.3~R13.3は社会増減を含む予測値、R14.3以降は出生数となっています。



伊賀地域の県立高等学校(全日制)の令和5年度入学定員

(伊賀市)

(名張市)

上野(普通・理数科)

普通(5学級) **6学級** (240人) 理数(1学級)

名張青峰(普通科)

普通(5学級) **6学級** (240人) 文理探究コース(1学級)

伊賀白鳳(専門学科)

機械(35)		
電子機械(35)	ロボット 電気工学	7学級
建築デザイン(35)	建築・インテリア デザイン	(240人)
生物資源(35)		
フードシステム(35)	フードサイエンス パティシェ	11学科
経営(30)		- 1 _X
ヒューマンサービス(35)	介護福祉 生活福祉	

名張(総合学科)

総合	文理アドバンス		
	総合ビジネス	5学級 (200人)	
	健康スポーツ	4系列	
	表現デザイン		

あけぼの学園(総合学科)

 製菓調理
 2学級

 総合
 美容服飾
 (80人)

 情報教養
 4系列

【参考】私立全日制、定時制、通信制、高等専門学校

桜丘(私立・全)・普通(155)

愛農学園農業(私立・全)・農業(25)※

上野(県立・定)・普通(40)

名張(県立・定)・普通(40)

英心桔梗が丘校(私立・通)(20)

神村学園伊賀(私立・通)(70)※

近大高専(160)

※資料2・3などでは県外扱い

令和5年度 1学年 計26学級(1,000人)

令和7年度 1学級40人減 令和10年度 1学級40人減

令和10年度 1学年 計23学級(880人)(見込)